



市会議員 **ねぎしかずこ** 2015年 4月

議会・活動ほろどく

No. 19

日本共産党

<http://www.negishi-kazuko.jp>



ねぎしかずこ市政事務所
横須賀市上町 1-45 <TEL>046-895-2641

新ごみ処理施設（平成31年稼働予定）の工事請負契約が議会で審議され、賛成多数で可決されました（3月2日）

現在（久里浜の焼却場では） 燃やしていないものまで、

燃やしては
ダメ！

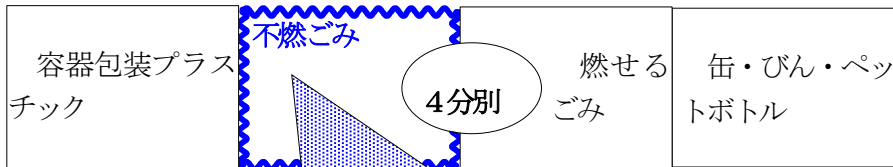
不燃物の
廃プラスチック類・ゴム類まで
燃やすことだ

日本共産党は、
こう考えます

日本共産党は、ごみ問題
で、

- ①ごみは生産の段階から出さない
 - ②燃やさない
 - ③埋め立てない
- ③を原則にすべきと主張してきました。
- また、減量化、資源化の取り組みも合わせて進めることが大切という立場であり、
廃プラスチック類を燃焼しないこと、
施設規模の再検討
この2つを
求め続けます。

（施設建設の契約の締結に反対する採決の前に行ったねぎしかずこ議員の反対討論は、
裏面に掲載）



井坂しんや議員も、この問題を、代表質問で取り上げました。

廃プラスチックとは、容器包装プラスチックとは違います。ペットボトルとも違います。不燃ごみのなかのプラスチック類のことです。

無料法律相談

4月13日(月)
5月11日(月)

お気軽に
お電話ください

ねぎしかずこ事務所
<TEL> 046-895-2641

採決に先立ち、ねぎしかずこ議員が行った反対討論 (要旨・2015年3月2日)

いま、市が契約しようとしている新ごみ処理施設は廃プラスチック類を燃やして高効率発電をしようとするものです。

この計画では、発電のためにごみ、中でも高効率発電に欠かせない高熱を発生する廃プラスチック類をたくさん必要とすることになってしまいます。これは減量化や資源化に逆行します。

また、ごみ分別などで協力してきた多くの市民の合意が得られているとは思えません。

さらに、廃プラスチック類は有害な金属類が混入しやすく、排ガス処理のためにいままで以上に施設・設備や費用もかかります。

環境や健康に及ぼす影響を考えれば、できるだけ燃やさないようにすべきです。

環境や健康より、発電に有利という経済性を優先することには賛成するわけにはまいりません。

よって、廃プラスチック類を燃焼することと、施設規模の再検討を求めて、施設建設の契約の締結に反対いたします。



歩道橋が国道16号の上にかかっているとはいえ、16号で地域が分断された形になっているこの地域では、階段が無理になった人たちがやベビーカーは車道上を横切らざるを得ず、もともとあった横断歩道の復活が求められていました。



3月16日、設置工事を確認に現地へ



1月、歩行者用信号の設置を待つ現地を訪れるねぎしかずこ議員

ねぎしかずこ議員は、県や市の、交通行政に関わる部署に、歩行者優先の立場に立つよう強く求め続けてきました。「歩行者用信号の設置は難しい」との県の当初の姿勢がやっと変わり、設置の運びとなりました。

国道16号の長浦交差点に横断歩道が戻る

横須賀を、アメリカとの共同出撃基地にさせない!

安倍政権は、集団的自衛権の行使容認の「閣議決定」を具体化しようとしているが、これは、米国のあらゆる戦争に切れ目なく自衛隊が参戦できるようにする「戦争立法」の整備であり、行きつく先は、集団的自衛ではなく、集団的侵略そのものです。横須賀から自衛隊員のひとりも送り出しはなりません。ねぎしかずこ議員は、横須賀のまちを「戦争に加担するまち」にしないよう、県議会を指す井坂しんや議員とともに、引き続き市議会がんばります。